

エナジークライミングジム浦和店リードエリアリニューアルコンペ「紐エナ魂」、エナジークライミングジムとして初めてのリードコンペは55名の参加者で熱気の籠った戦いが繰り広げられました。

競技方法は、予選2課題をフラッシングで行い上位8名が決勝進出。決勝は1課題をオンサイトで戦います。

参加クラスは全6クラスと細かく分かれ、クラス毎の参加者の実力も伯仲していました。

クラス6は自己最高グレード5.10cまでのクラスで、このクラスのみ予選から決勝までトップロープで行われました。クラス6は参加7名、予選第一課題の「B」ルートはクラス5との共通課題で85度壁の課題で設定グレードは5.10b、RockCandyのレンタルホールドのみで構成されています。下部は大きな半円盤状のホールドの処理が核心で、上部はフィン状のビスカチが続き最後の縦カチのマッチからゴール出が核心の課題、この課題は4名が完登。第二課題はこのクラスのみ「A」ルートで90度壁の素直なガバルートで設定グレードは5.9、全員が完登し上位4名は予選同着で全員決勝へ。決勝課題は95度壁で予選の登りから急遽上部のホールドを悪くして設定を5.10dから5.11bまで難しくしたものの村山選手と田中選手の2名が完登し、タイム差で村山選手の優勝となりました。



※クラス6、3位星野彩乃・1位村山亜未・2位田中龍之介（左より）



※クラス6決勝の村山選手

クラス5は自己最高グレード5.11bまでのクラスで、参加10名。予選第一課題の「C」ルートは90度壁で垂壁らしいバランスでデリケートな下部から上部で核心のスローパーを越えられるかが肝の課題で設定グレードは5.10d、この課題を4名が完登しました。第二課題はクラス6と共通の「B」ルート5.10b、こちらは全員が完登し上位4名が予選同着のまま決勝へ。決勝は100度壁のカンテ絡みの課題で設定グレードは5.11bで中間部とゴール取りに思い切りが要求される課題でしたが4名が完登し、そのうち3名が予選も全完、タイム差で藤原選手の優勝でした。



※クラス5、3位ピョリナーヴァーガラ・1位藤原有紀・2位早川友起(左より)



※クラス5決勝の藤原選手

クラス4は自己最高グレード5.11dまでのクラスで参加15名。第一課題はクラス3と共通の95度壁「D」コース。複雑な処理を要求される下部からパンピーな中間部とパワフルな上部の5.11bでしたが何と13名が完登。クラス5との共通課題の「C」ルートはそのままと全員完登される可能性があったため半分程度のホールドを入れ替え5.10dから5.11b/c程度まで難しくしたのですが11名が完登し両完登の10名が決勝へ。決勝は110度壁で甘めのカチがじわじわ力を奪う前腕が張る課題、当初5.11dで設定していましたが難易度を調整して5.12aへ変更、しかし少し難しめだったのか完登者は出ず一番高度を稼いだ森川選手の優勝となりました。



※クラス4、3位滝田岳臣・1位森川真伍・2位成田和弥(左より)



※クラス4決勝の森川選手

クラス3は自己最高グレード5.12bまでのクラスで、参加10名。予選第一課題はクラス4と共通の「D」ルート、8名が完登。予選第二課題はクラス2と共通課題の「E」ルート。100度壁の課題でカチ系の小さなホールドかボリューム系ホールドという極端な課題で設定グレードは5.11dで8名が完登。両完登の6名と8位タイまでの全9名で決勝へ。9名で行われた決勝は110度壁でスローピーでパワフルな下部から上部のビスカチゾーンに突入する課題で設定グレードは5.12aでしたが何と5名が完登、セッターの予想を上回る実力者が揃ってしまいタイム差で東本選手の優勝でした。



※クラス3、3位松尾隆久・1位東本謙太・2位小池義正(左より)



※クラス3決勝の東本選手

クラス2は自己最高グレード5.12cまでのクラスで、参加8名。予選第一課題はクラス3との共通課題の「E」ルートで全員が完登。第二課題はクラス1との共通課題の「F」ルートで110度の5.12b、出だしから気の抜けないデッドがあり、中間部から上も足位置が微妙で力を使わされる課題で3名が完登し上位3名が同着で決勝へ。参加全員の8名で行われた決勝は130度壁の課題で設定グレードは5.12c。大きく蛇行する課題で最初のトラバース後のピンチマッチからの1手と上部左カンテから戻ってくるパートが核心。この課題を予選2本目の出だいで落ちてしまい予選最下位で決勝に進んだ小学生の猪鼻選手が決勝のリーチパートもギリギリのクライミングで突破し唯一の完登、今回最大の下克上で優勝となりました。



※クラス2、2位内田晴・1位猪鼻碧人・3位小林隼大(左より)



※クラス2決勝の猪鼻選手

クラス1は自己最高グレード5.13aまでのクラスで5名が参加。予選第一課題はクラス2との共通課題の「G」コースではほぼ問題なく全員が完登(平岡選手の出だしは危なかったですが)。第一課題はクラス1専用の「F」コースで130度壁の5.12cで中間部のファットピンチからの1手が厳しくその後もこれでもかとカチ系のホールドが続く厳しい課題で完登者はいませんでした。決勝は130度壁の設定グレード5.12c/d、1手1手振り絞るように強傾斜を登っていく課題でまさにヨレて落ちるルート。この厳しい課題を松原選手のみが完登し優勝となりました。



※クラス1、3位山崎翼・1位松原宏実・2位千葉嶺央(左より)



※クラス1決勝の松原選手

完登者が多く、6クラス中3クラスで優勝がタイム差で決まってしまったのは反省点ですが登れて良かったとの声もあり、あまり難しくしすぎるのも考え物かとも思いました。

最後になりますが、熱い登りを見せてくれた選手の皆様、素晴らしい賞品を協賛いただいた株式会社サンダンスアウトドアーズ様、株式会社ロストアロー様ありがとうございました。

エナジークライミングジム

林 健